

## (様式2)新規評価シート

				建設部	道路建設課				
事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)白石千曲線				
事業毎の通番		15	市町村名	千曲市	箇所名(ふりがな)	倉科原(くらしなはら)			
事業概要	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>本路線は、倉科原地区から千曲市街地へのアクセス道路であり、地元住民の生活道路として位置付けられている。また、東小学校の通学路及びバス路線としても指定されている。</li> <li>当該箇所は幅員狭小で車両のすれ違いに困難を極めている状況となっている。</li> <li>本事業は、道路拡幅工で1.5車線を確保し、走行の安全を図るとともに、視距改良を行い、交通の安全性を確保するものである。</li> </ul>							
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3~8生活を支える地域交通の確保 (生活の基盤となる道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法					
	関連する事業、計画等	なし							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量: 3,115台/日							
	着手年度	平成30年度	事業期間	5年間	事業費 (千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	2.9	国庫	その他			
	全体事業内容 (主な工種)	道路拡幅工 L=250m, W=4.0(5.0)m		100,000	県債	一般財源			
	事業効果	直接的効果 (定量的・定性的)	バス路線の整備 走行時間・経費等の減少						
評価の視点	必要性	○計画交通量 : 3,115台/日 ○代替道路の有無 : 代替道路があるが、安全性が低い ○医療・福祉・教育施設との連携 : 特別養護老人ホーム(杏寿荘)への1次アクセス、東小学校への2次アクセス ○交通結節点アクセス : 千曲市バス路線(デマンド型乗合タクシー 東部線) ○観光振興・地域の活性化 : 観光地「あんずの里」の活性化に資する				評価			
	重要性	○関連計画・重点施策との整合 : なし ○緊急輸送道路の路線指定 : 避難経路 ○地域指定 : 信州観光圏(千曲市)				評価			
	効率性	○費用便益比(B/C) : 2.92 ○事業期間 : 5年間 ○工法等の比較検討 : 工法比較によりコスト縮減について検討予定 ○他事業との連携 : なし				評価			
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 1件 人×自動車(H24) ○道路環境改善 : 視距確保による安全向上、局部的な渋滞緩和 ○歩道整備 : なし ○現況の車道幅員、半径、勾配 : 車道幅員3.0m				評価			
	計画熟度	○事業情報の共有 : H29.7 地元役員を中心に周知。立会を実施。 ○地域の取り組み : H29.10 協力的である(地域づくり懇談会で市から強い要望あり) ○地域の合意形成 : H29.7 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 沿道の美化活動等を行っている(維持管理に住民参加が見込まれる)				評価			
所管課意見		事業の必要性が高いため、平成30年度から事業化したい。		採択状況	総合評価				
				○	B				
技術管理室意見		所管課の意見を適当と認める。							

